

磐田市

# 桶ヶ谷沼 ビジターセンター

## 第250号 2025年3月号 だより



開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地



## もうすぐベッコウトンボに会えますよ

3月になりました。いよいよ桶ヶ谷沼にトンボの季節がやってきます。例年通りであれば中旬にはベッコウトンボの羽化が始まります。去年の羽化第1号は3月17日でした。今年は2月に気温の低い日が続いたので、羽化第1号は去年より遅れるかもしれません。

ベッコウトンボは春のトンボです。見られる期間は3月中旬から5月末頃まで。3月の羽化は朝8時～9時頃から始まり、開始からおおよそ2～3時間後には飛び立ちます。

ベッコウトンボは「磐田の昆虫」にも指定されています。ぜひ、会いに来てください。下の写真は羽化のようすです。



- 1 水から出てきて、しばらくするとヤゴの背中が割れ殻から頭部が出てきます。
- 2 反り返り、胸部と腹部を殻から出します。
- 3 一転して、起き上がって殻につかまり腹部を全て出しきります。
- 4 からだ全体が出ました。からだを乾かします。翅と腹部が伸びてきます。
- 5 だんだんと翅と腹部が伸びてきます。
- 6 からだがまっすぐになります。じっとからだと翅を乾かします。
- 7 翅を広げ、いよいよ飛び立つ準備をします。
- 8 羽化から2週間ぐらい経つと成熟したオスはベッコウ色から黒褐色になります。

へいせいがんねん 平成元年からのベッコウトンボ調査会での確認頭数の推移  
 ちょうさかい ちょうさかい かくにんとうすう かくにんとうすう すいすい すいすい

この数は調査会当日（4月中旬）の午前10時頃から11時30分頃の間を確認した数で、その年の羽化総数ではありません。実際の羽化総数はこの数よりはるかに多いです。確認頭数は天候に左右され、穏やかな晴天の日は数が多くなります。



おも ほご ぞうしよくかつどう れきし  
 主なベッコウトンボの保護・増殖活動の歴史

- H. 3 桶ヶ谷沼とその周辺が「静岡県の自然環境保全地域」に指定される。
- H. 4 水生生物の復元を目指す「復元池」、ベッコウトンボの保護・繁殖を目指す「実験池」を造成。
- H. 7 前年の夏の猛暑による濁水で数が減少したため、その対策として実験池を整備。
- H. 11 前年にアメリカザリガニが大発生しヤゴが捕食されたため、アメリカザリガニの駆除活動を開始。また、磐田南高校の生徒による実験池での人工繁殖を開始した。
- H. 18 NPO法人岩井里山の会が、沼の北に「生け簀」を設置。
- H. 23 沼の南西部の台地（甌塚）に人工繁殖用のコンテナを設置。
- R. 2 クロスジギンヤンマやショウジョウトンボなど他の種類のヤゴによる捕食を防ぐため、他種が産卵できないようコンテナに網を張ったり、見張り番が他種を追い払ったりした。
- R. 3 ヤゴの順調な成長を促し、共食いを防ぐように定期的エサ（イトミミズ）やりを開始。
- R. 6 夏の猛暑によるコンテナ内の濁水を防ぐため、コンテナの上に日よけ用のすだれを設置。

しゃしん み ぜつめつ きき まも とく  
 写真で見る絶滅の危機からベッコウトンボを守る取り組み



アメリカザリガニの駆除を定期的に  
 行う



アメリカザリガニが入らないよう  
 コンテナ内でヤゴを育てる



他のトンボが産卵できないよう  
 コンテナに網を張る



ベッコウトンボだけが産卵をするよう  
 他のトンボを追い払う



コンテナ内にベッコウトンボの  
 ヤゴだけを残す



猛暑による水温上昇や濁水を  
 防ぐようコンテナをすだれで覆う